



## 中道 俊 Shun Nakamichi

三菱電機株式会社中国支社 自動車機器部営業第二課  
(2004年3月 経済学部卒業)

たとえ部品一つでも、ビッグビジネス。

### —電機メーカーでの「販売」という仕事は?

弊社で製造したカーオーディオやカーナビ、エンジン関係などの電子機器を自動車メーカーに販売しています。販売といっても、商品を持参して売り込む仕事ではありません。商談を通して新車開発に関する情報を収集し、自社の設計担当者に製品開発を提案するほか、顧客と自社の設計担当者それぞれの意見や要望を取りまとめ、コーディネートするのが主な仕事です。自動車メーカーとの商談は、量産が始まる4・5年前からスタートします。優位に販売戦略を練るためには、「どんな車両か? 必要とされる部品は?」と



いった情報が、他社より少しでも早く必要です。顧客のもとに毎日足しげく通い、タイムリーな情報を仕入れてくるのが大事ですね。

この仕事は、電子機器について、かなり専門的な知識が必要です。私は経済学部卒ですが、自分一人の力では完結できないケースも多いため、日々勉強しています。

### —この仕事を選んだきっかけは?

学生時代に家電量販店でのアルバイト経験があり、もともと家電製品に興味を持っていました。内定後、三菱電機には家電以外にもさまざまな部門があることを知り、クライアントが大企業ばかりの自動車部門を希望して配属されました。

### —仕事で大変だったこと、やりがいを感じることは?

一番大変だったことは、販売したソフトウェアに不具合が見つかったときですね。量産体制に入る直前でしたので、作業の手配といった調整に苦労しました。



やりがいは、営業担当者一人当たりに任される売上金額が大きいところ。例えば、1つ100円の部品でも、100万台量産すると売り上げは1億円。1万円の部品だと100億円にもなります。やりがいはあるけど責任もある。そこが面白いけれど厳しいと感じるところですね。あと自分が担当している車が街中を走っていると、「おっ、あの車の中には僕が売ったあの部品が!」って、うれしくなりますね。

### —仕事で大切にしていることは?

最近ではメールや電話で連絡できますが、お願いをするときは、メールと併せて直接お会いするように心掛けています。大学時代は同年代以外にかかわる機会が少なくても、社会に出ると、30歳以上も年齢差のある方やいろいろな考えを持つ方と一緒に仕事をします。人間関係がとても大事で、どんな人とも逃げずに付き合っていかなければなりません。

皆さんも同世代だけの殻に閉じこもらず、視野を広げるためにも、いろいろな人と接してほしいですね。

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきこと、はたまたアルバイトの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

# 羅針盤 O.B.&O.G 紹介



### —仕事内容とやりがいは?

当社では、市販の機械で量産化の難しい製品は、生産設備を自社開発しています。その設計から製造ラインの組み立て、調整、生産立ち上げまで一連の業務を担当しています。大きな設備だと、開発に丸1年かかります。

新製品のCheeza(チーザ)では、成型技術の確立の段階にかかり、試行錯誤を重ねました。工場で、製品がきれいに焼き上がり並んで出てきたときは、感動で胸がいっぱいになりました。周りの人に「おいしい」と言ってもらえるのも、食品メーカーならではの達成感。モチベーションが上がります。

### —就職したきっかけは? 職場の様子は?

もともと生産技術に興味があり、何をつくる機械に面白さを感じるのかを考えたら、食べ物やお菓子でした。それで食品メーカーに就職を決めました。後で知りましたが、私はグリコ初の女性エンジニアだったんです。工具を持ってプラントによじ登り、機械を調整することもあるんですよ。多少体力不足を感じたこともあったけど、先輩や上司のフォローもあったし、今は女性エンジニアも4人に増えて和気あいあいと働きやすい職場です。



### —将来の夢は?

休みの日にお菓子食べていても、「おいしい」だけではすまなくて、製造方法はもちろん使われている原料や、味の分析までしてしまうことがあります。将来は、同業他社の人に「この製品は一体どうやって作ってるんだろう、まったく分からないなあ」と思われるような新製品を作りたいですね。そして自分の子どもに、「おいしい!」と言ってもらいたいです。

### —広大生へメッセージを!

学生時代は、勉強も遊びもすべて自分のため、時間もたくさんありましたが、社会人になると、やっぱり自由な時間が少ないです。今のうちにいろいろな経験をして、就職活動は、自分の学んだことにこだわらず「何でもやってやる!!」という気持ちで臨んでほしいですね。大学で学んだことは



決して無駄にならないと思いますが、自分が思い描いていたのとは違う部署に配属されるかもしれません。就職活動中に見えなかった面も見えてきます。でも、何でもプラス思考で前向きにがんばれる人は、どんな仕事でもやっていけるといいますし、会社もそういう人材を求めています。ガッツと根性で、がんばれ広大生!



## 山田理恵 Rie Yamada

江崎グリコ株式会社 技術開発部生産技術  
(2004年3月 工学研究科博士課程前期修了)

「おいしい」へのこだわりが、仕事の原動力。

## 取材を終えて



電機メーカーといっても幅広い業界に影響していることや、学生時代のアルバイト経験など、いろいろなお話をうかがうことができました。しっかりと目標を持って話してくださる中道さんの笑顔が印象的でした。私も中道さんのように、自信を持ってできるような仕事をしたいと思います。

取材・記事 / 工学部3年 山我 典子



サクッとした食感からユニークな形まで、山田さんのこだわりが詰まったCheezaは、とてもおいしかったです! グリコ初の女性エンジニアということで、幅広い仕事をガッツでごなすかっこ良さを感じました。「友達や家族においしいと言ってもらえることが最高の喜び」と語る山田さん。私も仕事に誇りとやりがいを持ち、楽しみながらがんばれる素敵な女性になりたいです。

取材・記事 / 医歯薬学総合研究科M1 松永 純子